

第33回 水環境シンポジウム

「雨を制御し、活用する新たな建築をめざして」

地球温暖化に伴う小雨、多雨が現実のものとなりつつある今日、都市における豪雨や渇水などの水問題に対して、「水循環系の再生」が重要な課題となっている。その解決の手がかりとして、建築が「雨水をいかに制御し、活用するか」が要点となる。雨水をこれまでのように排除するのではなく、地球環境との関わりの中で様々な活用することが社会的に求められてきている。それは建築のあり方そのものを大きく見直すことになる。

(社)日本建築学会では、環境工学委員会の雨水建築規格化小委員会において、2011年3月を目処に建築における雨水活用システムのガイドラインづくりに取り組んでいる。その刊行に先立ち、シンポジウムを開催し、建築に限らず河川や下水道、水循環との関係も含めて総合的に課題の整理を行い、建築学会雨水建築規準の普及に向けた議論を行う。

プログラム

主題説明：小瀬博之 (東洋大学准教授)

1. 雨水活用システム規準案解説

- 1). 設計規準：神谷博 (法政大学兼任講師)
- 2). 製品規準：屋井裕幸 ((社) 雨水貯留浸透技術協会)
- 3). 施工規準：青木一義 (㈱西原衛生工業所)
- 4). 運用規準：中臣昌広 (文京区文京保健所)

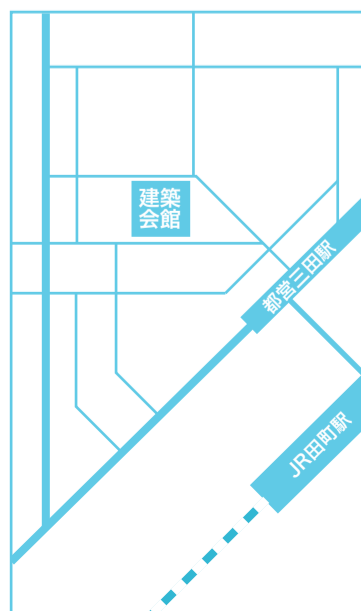
2. コメント「今日の水問題と雨水の役割」

- 1). 島谷幸宏 (九州大学教授)：流域で取り組む雨水制御
- 2). 古米弘明 (東京大学教授)：都市の水循環とリスク管理
- 3). 細見寛 (国土交通省中国地方整備局副局長)：次世代に向けた統合的な治水

3. パネルディスカッション「雨を活用する新たな建築を目指して」

コーディネーター：村川三郎 (広島大学特任教授)

パネリスト：神谷博、屋井裕幸、青木一義、中臣昌広、島谷幸宏、古米弘明、細見寛



主催：(社)日本建築学会

日時：2010年11月13日(土) 13:00～17:00

会場：建築会館 大ホール

JR田町駅、都営地下鉄三田駅(浅草線、三田線)徒歩3分
〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

TEL: 03 3456 2051

参加費：1500円

(会員1000円、登録メンバー・後援団体1200円、学生500円)

申し込み：事前申込、定員150名、11月10日締め切り

催し物名称、氏名、勤務先、所属、住所、電話番号を明記し

メールまたはFAXにて申し込み

日本建築学会・酒井 sakai@aij.or.jp

FAX 03-3456-2058